

# 収量に優れる夏作牧草・線虫対抗作物

## ギニアグラス「ナツカゼ」 初期生育良好

ナツカゼは青刈り利用に最も適しており、九州南部では3～4回刈り、関東以南では2～3回の刈取りができます。良質な乾草とロールベールサイレージも作れます。



7月下旬に出穂する早生品種です。

草丈が150～160cmで刈り取ると栄養価と嗜好性の良い牧草となります。

ナツカゼは九州～関東のどこでも作ることができます。

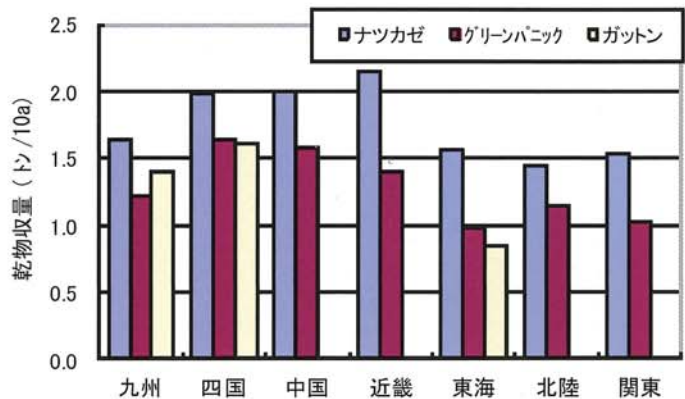


図 ナツカゼの栽培適地

### ★ネコブセンチュウの密度を下げる

施設園芸ではハウス土壌の除塩効果があり、土壌中のネコブセンチュウの密度を下げて線虫被害を少なくします。

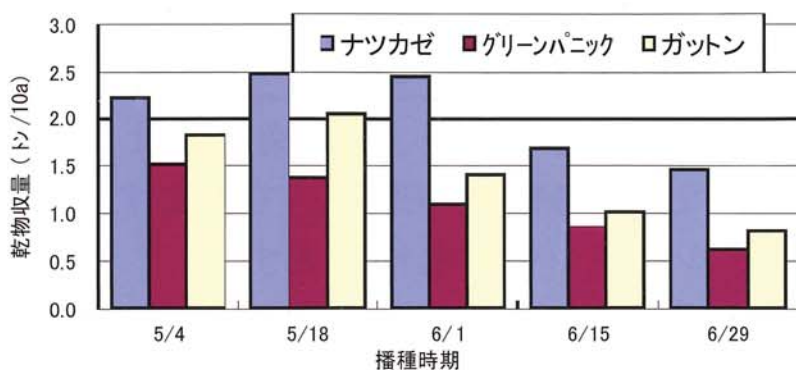
表 線虫に対する対抗植物の効果

植物名	サツマイネコブセンチュウ	ジャワネコブセンチュウ	キタネコブセンチュウ	ミナネグサセンチュウ
ナツカゼ	◎	◎	◎	◎
グリーンパニック	◎	◎	◎	◎
ハウキモロコシ	○	○	◎	×
クロタリア	◎	◎	◎	×
マリーゴールド	◎	◎	×	◎

注) ◎:線虫密度抑制、○:線虫密度不変、×:線虫密度増加

## ナツカゼの栽培・利用法

1) 青刈り利用では、平均気温が18℃を超えればいつでも播種できます。



播種が遅れてもたくさんの牧草をとることができます。

播種期の幅が広いので、イタリアンライグラスと組み合わせた栽培体系が容易に組めます。

図 播種の遅れと収量

2) 乾草・ラップサイレージ利用では、5月上～中旬に播種すると、梅雨明けに穂孕期～出穂期となり1番草を収穫できます。



中型機械で反転や踏圧回数を少なくし、乾草・ラップサイレージ利用にすると2番草が収穫できます。

写真 ナツカゼの予乾とサイレージ調製

3) **ハウス土壌での除塩・線虫抑制・鋤込み利用では**、条間を40～50cm、栽培期間は3か月間が必要です。再生草は粗大有機物として鋤込むことができます。

## ナツカゼの特徴

九州で5月上旬に播種すると7月下旬に出穂し、成熟時の草丈は2.5m程度です。

ギニアグラスでは早生品種に属します。

雑草との競合に強い品種です。

大型機械での収穫作業には適していません。

【育成機関】 問い合わせ先：

(独)九州沖縄農業研究センター 合志拠点 畜産草地研究領域

飼料作物育種グループ

Tel. 096-242-1150 Fax. 096-249-1002